

グリーティング

関西育ちの私は、3月になると「お水取り」「お松明(たいまつ)」が頭に浮かびます。3月1日～14日に行われる東大寺二月堂の修二絵(しゅにえ)と呼ばれる宗教行事のことです。ご本尊の観音様の前で、日常のさまざまな罪を僧(練行衆)が懺悔し、世の平和と人々の幸せを祈るのです。3月12日深夜に二月堂下の井戸からご本尊にお供えする水「お香水」を汲み上げる儀式が「お水取り」です。この行を進める僧の道明かりの為に、重さ6～70kg長さ6～8mの燃える籠松明が二月堂舞台を駆け抜けるのです。これが「お松明」と呼ばれ、闇の中を幻想的に炎が舞い、火の粉が落ちる度に人々のどよめきが起きます。

驚くべきはこの修二会、今年平成30年で1267回目!!

752年から一度も途絶えずに続いている伝統行事なのです。気の遠くなるようなはるか昔からの仏事の勤行に、日本の強く誇らしい一面を見た気がします。 S.K



二月堂舞台を駆け抜ける松明



勇壮に燃える籠松明の炎

技工情報

◎審美修復におけるフレームの選択基準について

○現在、審美修復でのフレーム材料は各種の材料(材質=マテリアル)が使用されています。弊社においても金属以外の材料を使用しています。

今回から、各種フレーム材料の特色や特徴、色調再現性や支台歯から見た材料の選択基準、クリアランスから見た選択基準についてご説明したいと思います。

◎審美修復の於ける各種フレームのご紹介

弊社における自由診療の審美修復の主な材料は、

- 1) 金属
 - 2) ジルコニア
 - 3) e.max(ニケイ酸リチウムガラスセラミックス)となっています。
- 又、上記の材料の形成方法も現在では多種多様になっています。
- 1) 金属
 - a) 鋳造法(ロストワックス法)
 - b) 歯科用CAD/CAMによる削り出し
 - 2) ジルコニア
 - 焼結ブロックをCAD/CAMにて削り出し、その後完全焼結
 - 3) e.max
 - a) ロストワックス法によるプレス法
 - b) CAD/CAMによる形成

以上のように、材料の種類によって形成方法も多岐にわたります。又、近年の特徴として1)～3)の材料にもCAD/CAMの応用が増えてきています。